

論 說

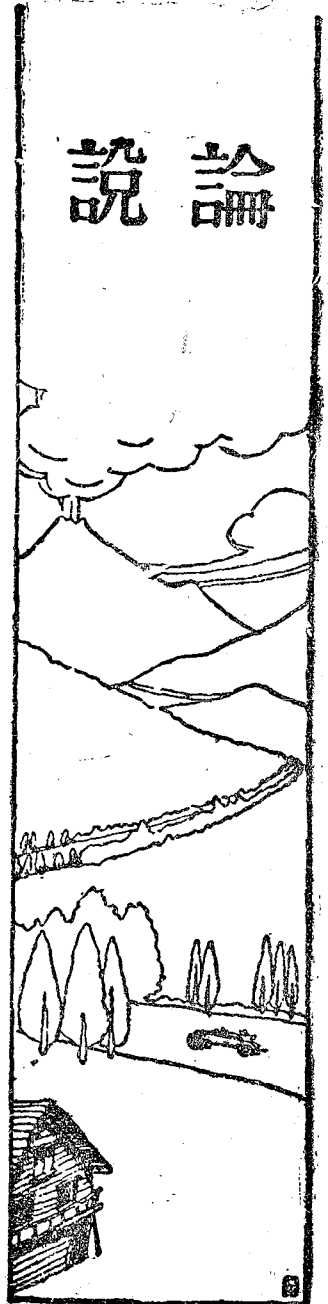
何としても復活したい道路補助計畫

……………是れからは道路改良の時代……………

衆議院議員 大 口 喜 六

一 政府も民間も希望する道路改良

我國の交通機關に於て今日最も必要を感じて居るのは道路の改良事業である。先年道路法を制定せられた時、道路會議が設置されたが、同會議に於て最も主張されたのは道路改良の問題であつた。そ



れに對しては多分三十年計畫であつたと記憶するが、相當な資金を公債として募集し、毎年其の金を以て各府縣の道路に補助を與へて國道を改良し進んでは府縣道を改良して、其の擴張ならびに改善を期せんとしたのである。

元來我國に於ては最も鐵道を必要としたものであらが、今や鐵道の計畫は大體に於て第一期の計畫を終つたと言つて宜い状態にある。寧ろ是から先きは鐵道よりも道路の完備が必要である。例へば従來は馬車か荷車より他は通行しなかつたものが、今は如何なる寒村僻邑に至つても自動車が熾んに用ひられて居る。従つて相當の距離までは、鐵道を敷設してそれに依るよりは、寧ろ道路さへ完全であれば自動車に依つた方が輕便である。自分等は此の上細かい所まで強いて鐵道を敷くよりは、寧ろ道路の改良をする事を以つて交通上極めて適切であると信じて居る。尤も此の議論は既に道路法實施の時に盛んに行はれたもので、政府も民間も、共に此の方針で進まれることを熱望して居つたことと確信する。

然るに財政の狀況から、此の一度定められたる計畫を變更して、公債の募集を繰延べ、道路の計畫も従つて繰延べられて居ると云ふことは、返へすくも遺憾な次第である。即ち將來は財政經濟の宜しきに従つて、曩の計畫を復興し、益々進んで道路の完備を期することが大切であると思ふ。

二 黨派心を捨て、公平な路線の選擇

そこで起る問題は都會の街路と地方の道路とであるが、先づ自分は全國に亘つて道路の幹線となる

べき國道の完備を期することが必要であると思ふ。勿論一時に全國の國道を整頓する譯には行くまいから、先づ地方々々で都會を中心として、其の都會から附近の他の都會に結びつける、サウ云ふことが極めて大切であると思ふ。又都會地の街路は都市計畫に依つて大部分は計畫せられつゝあるが、是れも益々發展せしむることが必要である。

續いて自分等が必要を感じて居るのは、府縣道の完成である。それは經費の都合上よほど國庫が補助をすることにならなければ行くまいかと思ふが、其の府縣道中には道路法實施の際、並に郡制廢止の結果、舊郡道から編入されたものが澤山にある。従つて將來道路の改良を實行する上に於ては、路線の撰擇が極めて大切である。或時代には政黨の關係などから此の路線の撰擇には頗る情實が纏綿し、時としては種々な弊害も行はれたことを目撃して居るが、將來は斯かる問題に對して黨派關係を用ゆるのは極めて宜くないことと思ふ。それは地方民も餘程覺醒し、政府に於ても大いに考慮されたく思ふ。結局主眼とするところは地方公益の爲めであるから、何處までも其の主旨に則つて撰擇を誤らず、而かも撰擇された以上は、速に其の完成を期することに努めたいものである。

都會の街路とすれば、人道車道の區別は勿論、其の間の鋪裝なども適當な材料を用ひ、水道、下水、電話線、電燈線の如きも、悉く地下に施設するやうな計畫が最も大切であるが、地方の道路とすれば、元よりそれだけの必要は無い、或は將來電車を開通し得るだけに擴張するか、少くとも自動車が自由に通られる幅員並に裝置で宜いと思ふ。是れだけでも完成すれば、公共の利益は容易ならぬことである。

由來道路の改良に要する費用は、なかく多額を要するやうであつても、之れを民間の運送賃から計

算して見れば決して高價なものではない、經濟上から打算しても實は道路の開鑿或は改良に要する費用は不利益なものではない。先年或る運送業者が長崎から東京までの運送賃に對して道路改良費との關係を調査したものがあつた。今突然のことと其の數字を暗記しないが、何でも驚くべき利益を與ふるものであることを其の當時感得したのである。其の詳して統計は調査したものがあるから再び機會があれば秩序的に論じて見てもよいのである。兎に角道路の改良は一日も忽諸に附すべからざることゝを明かにしたいものである。(完)



理想的山嶽自動車道の開鑿

風景探勝道に依つて
新富源を開發せよ

林學博士 田村剛

今日まで吾々日本人が見逃してゐた一つの大きな富源があつたやうに思ふ、或は古くから日本人が氣附いては居つたが之を利用する方法に於て何等實際的な方法が講ぜられて居なかつたのかも知れない。その富源は日本が世界の大きな風景國であるといふことに基くのであつて海外では今日風景は非常に大きな富源として着眼せられ、之を開發し、利用する方法を大規模に講じて居る。日本はこれといつてとりたて、海外に對して誇り得るものが無いのであるが、たゞ風景の點では恐らく瑞西、加奈陀